

2020年8月21日

地域の活性化と地域社会の発展への取り組みで協力 「よい仕事おこしネットワーク」と TOKYO MX が テレビ局で初の包括連携協定締結



よい仕事おこしネットワーク



TOKYO MX
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社



東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)は、8月20日(木)、全国の信用金庫などで組織する「よい仕事おこしネットワーク」と、テレビ局としては初めて「包括的連携に関する協定書」を締結しました。「よい仕事おこしネットワーク」実行委員会の事務局を務める城南信用金庫の本店(東京都品川区)で開かれた締結式には、城南信用金庫理事長・川本恭治氏と当社代表取締役社長・伊達寛をはじめ関係者が出席し、報道関係者に概要を発表しました。

伊達寛 代表取締役社長(写真右) コメント

「東京のテレビ局として、東京のさまざまな課題を解決していきたい」という思いで作った当社の企業メッセージ『つなげるテレビ。』の理念と目指す志が近いと感じています。「よい仕事おこしネットワーク」に参加することで、活動を一緒にしていきたいと考えました。

この縁を繋いで頂いた東京新聞と紙面と番組の連携をするなどして、地域に貢献していきたいと考えています。

川本恭治 城南信用金庫 理事長(写真左) コメント

全国の信用金庫は震災以降ネットワークを組んで「日本を明るく元気にしたい」という考えの下、「よい仕事おこしネットワーク」の活動を始めました。このネットワークに足りなかったのはテレビ局で、本日、テレビ局で初めて TOKYO MX が参加してくれました。この意義は大変大きいものと考えています。1日も早くこの締結の日を迎えたい気持ちでした。

今、中小零細企業はどの業種も本当に困っています。発信力が課題で、私たちが目指しているのは、まさしく TOKYO MX の企業メッセージにある「伝える、つなげる」です。全国の中小企業、新聞社、大学、地方自治体、テレビ局、そして信用金庫というオールジャパンで、皆でつながり、協力し、それが伝わり、つながる力を強めていきたいと考えます。そうすることで、この危機を乗り越えたいと思います。

■「よい仕事おこしネットワーク」について

全国(250)の信用金庫のネットワークを活用し、中小企業の支援や地域課題の解決、地方創生の推進などに取り組むもので、多くの地方公共団体や地方新聞社、大学なども参加するネットワーク。

信用金庫の取引先などが参加する商談会・「よい仕事おこしフェア」や、各企業の商品やサービスのマッチングサイト・「よい仕事おこしネットワーク」、新たなビジネスを生み出す交流拠点・「よい仕事おこしプラザ」の運営(羽田イノベーションシティ内)など、さまざまな活動を通じて地域の活性化と地域社会の発展に寄与する取り組みを行っている。

本件に関するお問い合わせ
TOKYO MX 経営企画室